物産雑説

北海道植物

二十六

A00
5764

北海道植物

東京大学総合図書館

廿六

No.27

草稿用

北海道話ノ内　品川大輔殿ノ上申　十六年八月十八日

一 江差ニハ一ノ発明アリ是迄ニ千町歩許ノ水田アリ今一万町ニ及ボサントノ目的ナル由

一 北海道ハ季節時遅キ由ナル故不十分ナル事多キニハ早ク時節ヲ選ハ丹尾氏ノ口癖ナリシカ[redacted]相当ヲ湯地氏昨年為之米国ヨリ輸入国種ノ西洋麦ハ黒テ非常ノ成熟ナリシトソ

一 月寒村ハ久米ノ蓮ト水田ハ已ニ植上ケナリ

一 小豆ハ畑ニテ三井物産会社ニテ引受ケシ丁

一 函館ハ勝尾組造船所ニテ引受ケシ丁

一 麦粉 黄布島ハ大丈夫ハ実ナド書記ト味噌ハ利益アリ

北海道

A00
5764

東京帝國大學圖書

B 45224

男爵田中遂男氏寄贈
先代田中芳男男爵旧蔵書
昭和七年

東京大学総合図書館

一 豊田ノ大味噌也 味噌ニ蓋ナク三寸位徹取ス 是ハ蓋ノ用意
ナキモノ 用 昆布ヲ三枚上ヘ置キ 少石ノ重リヲナシ置
ク塵除ノ蓋ヲ尤モ佳ナリ 昆布ハ合スベク 味噌徹ヘノ也
右味噌ノ下数ト壱年ノ内 大凡ハ 西表蝦夷ト也 是ハ南部ヲ毎年来ナ
スベシ 薩摩芋ハ 俄難ノ法アリ 皮ヲ包ミ合フト云
一 函館ハ蚕アリ 田中トミフ宗家ノ為ニ拡張アリ 一 駒岳 ヒメサンゴ 白芒着気
一 松前ヨリ ウグヒ多ク取レル 一 擇捉ト大樹来ル 毛ヲ刈ル 晏周枚
一 黒狐皮 大田 三色狐皮 三田 及ビ黒犬皮ノ如斯品ノ常品 是ハ雑色ナクシテ非ス 尋常ナラン
一 箕治船ヨリ 鍋皿ヲ濃く諸ヒ 一 エトロフ 島多ク持来ル
一 馬鈴薯ハ 生ノ儘シテ布ニ包ミ 水ヲ去リ 蒸シテ 葛ニ付テ 蒸合ス

一 ラッコ猟ノ話

明治十三年開拓使本庁管内一覧略表 陸産

北海道

大麦	小麦	大豆
小豆	粟	玉蜀黍
蘿蔔	胡蘿蔔	馬鈴薯
甘藍	蔓菁	蕪菁
牛蒡	葱	玉葱
百合	葉山葵	蕎麦
葡萄	砂糖蘿蔔	椎茸
鱒罐詰	鮭罐詰	鹿罐詰
葡萄酒	麦酒	牛乳
生糸	糸織	麻苧
漁網	鰮綆織	牛

上野公園内
桜園館
田中芳男殿
南海町二丁目
栗原三

郵便はかき

此表面ニハ宿所姓名ヲ限リ認ムヘシ

加テ乾シタル豆料ノ種子

馬	羊	豚
熊	鹿	獺
兎	狐	雁
鴨	鷄	熊皮
鹿皮	鹿角	石炭
槐	櫟	椥
黄蘗	刺桐	楢
岩楓	桂	薪
炭	馬具	菜種
繭	鷄卵	

陸産通貨　百三十五万七千三百三十九圓拾弐銭七厘

一豊田ノ大味噌也　味噌ハ蓋ナシ三寸位徽敗ス　是ハ蓋ノ用意

十年ニ三月　出品　長サ三枚上ノ炭十　少石ノ通リ　之ヲ呈

北海産陸産品目録

アハ　日高沙流郡産　茹テ乾シタル豆料ノ種子

札幌　鶴菜薹

イケ

馬	熊	兎	鴨	鹿皮					
羊	鹿	狐	鷄	鹿角					
豚	獺	雁	熊皮	石炭	梻	楢	薪	菜種	千弐百三十九圓拾弐銭七厘

日誌ハ本年春樹木趣操（エンデユランコ）
梻（ヤチダモ）ハ開拓使十二年丁第一号
達林木梻下規則ニアリ右
[illegible]
[illegible]

北海道

アハ　日高沙流郡産　茹テ乾シタル豆科ノ種子

粟ヲアハト称スルト異リテアハハト讀ヘシ其ハ北海道日高
国ノ各地ニ居ル土人ノ称ニシテ芦ノ茅等ノ間ニ生スル一年生
豆科ノ蔓草ノ種子ナリ此草高サ四五尺ニ至リ葉ハ
小豆ノ葉ニ似テ茎モ亦似タリ九十月頃実熟シ莢皮破裂
シテ豆ヲ地ニ落スノミニテ随地自生多シ又余莖ハ馬ノ好テ食ス
ルモノナリトゾ

四五月ノ頃芦茅ノ間ヲ堀リ其豆ヲ拾フ一日ニ一升乃至二升ヲ得
ル生ノ儘茹テ食スレ氏多クハ茹テハ乾シ好ハ年中ノ食料
トス之ヲ食スルニハ其乾物ヲ茹テ食シ又児童ニ與フルナレ氏

凶歳ノ食ニハナサズ其食料ノ足ラザル間ニ食スニナリトモ而シテ
其大ナルハ蝗ハ佳ナルモ而大ナル多ク喰フ弁蝗ヲ苗ナルモノ
近シ土人ノ大ニ嗜ムモノナレハ漫ニ人ニ與ヘズ又貯蓄セズ賞
客アレハ茹テ饗スノミ
採集スルニハ地中ニテ発掘スルモノニテ一歳ノコトモ而シテ乾シテ多量ヲ
貯蓄セシトナリ
右ハ北海道蝗虫駆除トシテ出張セシ鳴門義次氏携帰リ
分與スルニヨリ同氏ヨリ聞ク所ヲ記ス

明治十五年十二月十三日　田中芳男

ヤチモヽ　假称

Myrica gale　楊梅科　北海道

北海道千歳其他諸処沼地ニ多ク自生ス、露國
採集腊葉中ニアリ多ク薬用アリト聞ク
リンド氏及ウード氏植物書中ニ其効用ヲ記載シタレバ
左ニ抄訳ス
ミリカ、ガレイハ英格蘭ノ沼地ニ多ク産ス葉ハ柳ニ
似テ美香アリ苦味ヲ含ム蓋酒ニ入レテ麦曲ヲ製ス
ヘシ北方ノ住民ハ其実ヲ忽布（ホツフ）ノ代用ニ供ス而
部ヲハイランドニテ之ニ用ユルヿナカラズ其実ヲ沸騰サセ

淳キタム棕櫚様ノ皮最櫚獨ノ製スヘシ樹ハ
糟皮ヲ蘇シ之ヲ用ユ秋季ニ枝ヲ集ムヘキモノハ歟
色ヲ黄色ニ染ムルニ用ユヘシ瑞典ニ於テ其煎ヘ
汁ヲ以テ殺虫ニ用ユ又苔蘚塗葉ニ供シテ効アリ
其ノ乾葉ハリンネー氏ハ其花ノ綿物ヲ蓑袋ニ用ヒ
ウエルス住民ハ其枝ヲ以テ得ル裏ニ敷テ蚤虱
織華ヲ防グノ馬ヲ山羊ハ之ヲ食ヒ羊及牝牛ハ
之ヲ嫌フ

明治十八年九月三十日

徳田佐一郎

フサスグリ

函館山産

其灌木ハ曾テ
函館山及ヒ黒
松内ノ山手見ヘ
又釧路ヶ根室地方ニ
自生甚タ多シ
且多クノ実ヲ結ブ
ソノ實ハ紅熟殷赤ナリ

北海道

根室地方ニテ大ナルハ一株数本ノ叢生シ高サ壱尺ニ至ル 新條ハ直立シテ
外皮茶色刺雑ニシテ様採一定ノ度アリ 旧茎ノ外皮ハ黒色ニ小斑点アリ カハカラ
ニ良系ニ 根室ニテ聞クニ 土人束縛ノ用ニ供スト 如何ノ仕方ナルヤ知ラズ 此ノ
月光映射ノ所ニナリ多クハ 樹間等ニアリテ生長セリ 実ハ房ナシ下垂シ赤
色甘酸ナリ 各地共ニ 食用スヘキハ知レド 名ヲバ知ラズ 又葉ハ別カラハナシ
彷彿タレド 彼ハ対生ニ是ハ互生スルニヨリ一目区別スヘシ 近年舶来スヘキノ
菓木カレンツト同物ナレハ 耕地ニ栽培スルハ彼ト同様ナルベシト考ヘ 当ニ
カレンツハ耕地ニ植ヘ 善ク結果スルモノナリ

北海道日高国新冠産

虎杖ノ茎

既ニ乾枯スルヲ以テ縮収軽痩ナリ

横断

一寸三分

根ノ方

一寸四分

是去十四年高原幸新氏ノ採リ更シテ同人ノ贈ル所ナリ

北海道ノ地タル虎杖ノ産野ニ多ク叢生林ノ如シ大低長サ六七尺ニ降ラス或ハ一丈ニ至ルアリ畑ニ就テハ菜豆ノ手トシ屋辺ニ於テハ垣トシ又冬月雪風防禦ノ障蔽トスル等其用数カラス捨テ荒地ノ竹ニ均シ又其茎太キニヨリ其香又西竹ノ如シ或ハ筒ノ用ニナスベシ以テ雑客ノ料紙ヲ巻キ収ムルニ用ウベシ又嫩キ内食ニ充ツ

十六年四月十六日夜

田中芳男識

北海道
根室市中ノ艾

根室ノ原野ニ生スル艾
シモフリヨモギト称スベキモノ也

葉面ニ毛アリ白綿アリ背ハ白
綿殊ニ多クシテ白蒿ノ如シ
但シ白蒿トハ別ナリ

小濱菊（コハマギク）　常ノ濱菊ノ小ナルモノニアラズ 別種ナリ 葉形殊ニ異ナリ

此菊科ノ小草ハ北海道ノ東南部殊ニ函館
港ノ如キ多シ又陸奥陸中陸前磐城常陸ノ
東海辺ニ自生アリ全緑色ニシテ葉茎ノモノト
アリ花ハ円形ニシテ白色後ニ紫色ニ変ス而シテ湿
地ニ生セズ乾燥セル堤崖ニ生ス他ノ草ト共ニ生スル
モノハ茎高クナリテ一尺以上ニ達スルモノアリ且人家ニ函館
地ニ於テハ其他ハ四五寸位ナリ又常ノ濱菊ハ絶壁
懸崖若クハ岩上ニ生スレドモ此モノハ大ニ異ナリ又
常ニハ畑ニ作ルコトモ此モノハ人家ニテ繁殖シガタシ

函
原
生ナレドモ草間ニアルハ長サ
尺餘アリ
又函館東ノ方裁判所ノ辺ニモ多ク生ス

小濱菊（コハマギク）

常ノ濱菊ノ小ナル者ノミニアラズ
別種ニテ葉ノ形状又異ナリ

此菊科ノ小草ハ北海道ノ東南部殊ニ函館港ノ辺ニ多シ又陸奥陸中陸前磐城常陸ノ東海辺ニ自生ス 全緑色ノモノト紫茎ノモノトアリ 花開キテ白色後ニ紫色ヲ帯ブ 而シテ濱邊トコロ〳〵 此草ハ崖ニ生ス 他ノ草ト共ニ生セズ

コハマギク
函館西岸臺町ノ先原野ニ自生多シ皆矮生ナレ共草間ニアルハ長サ尺餘アリ

北海道

又函館東ノ方裁判所ノ辺ニモ多ク生ス

此草ヲ採リ乾腊セシハ十月十四日ニシテ開盛ノ頃ナリシ故花
梢莟タルハ淡紫色トナルヨリ一見シテ二色ノ花アルカ如シ
函館ニテ開花ヲ見ヘヲ初トスレ𪜈是ヨリ先室蘭ト鷲別ノ間ニ
於テ蕾アルモノヲ見タリ
又根室地方ニハ随地ニ自生アリ函館辺ト大差ナシ
又青森縣下東津軽郡ニアリ鴎ノ島ニハ殊ニ多シ
此草ハハマギクノ一種ニ係ルモノナルカ俗ニコハマギクト名ク

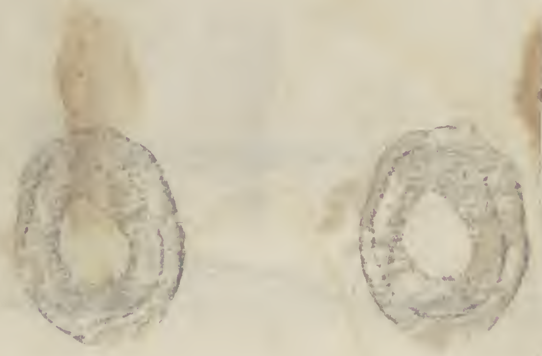
北海道
土大黄　根室ノ海濱ニ生シ浪ノ為メ土ヲ洗ハレ根幹ノミ
直立ス外面紅赤色ヲ帯ブ　割ルハ内部ノ瓤白ク外ハ皆
黄色ニシテ節アリ
又紅暈アリ

縦割

同前

同前

北海道
細茎ト太茎トノ二部
傘形科植物ノ茎墨摺



ばいし [illegible]

東京大学総合図書館

がハり　細茎ノ　傘形字

東京大学総合図書館

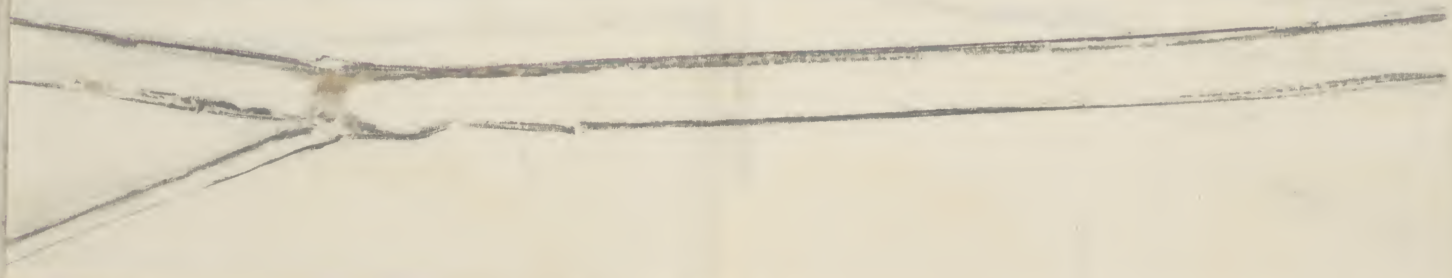
東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

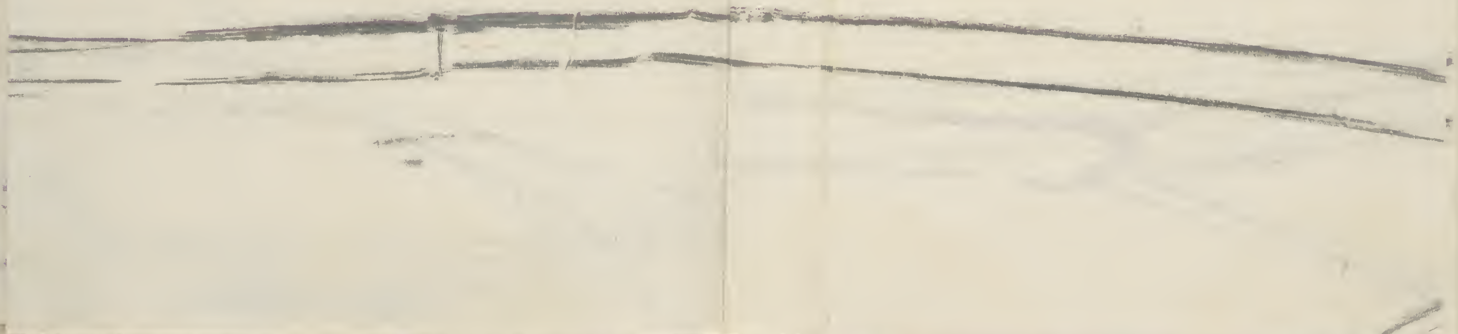
東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館



東京大学総合図書館

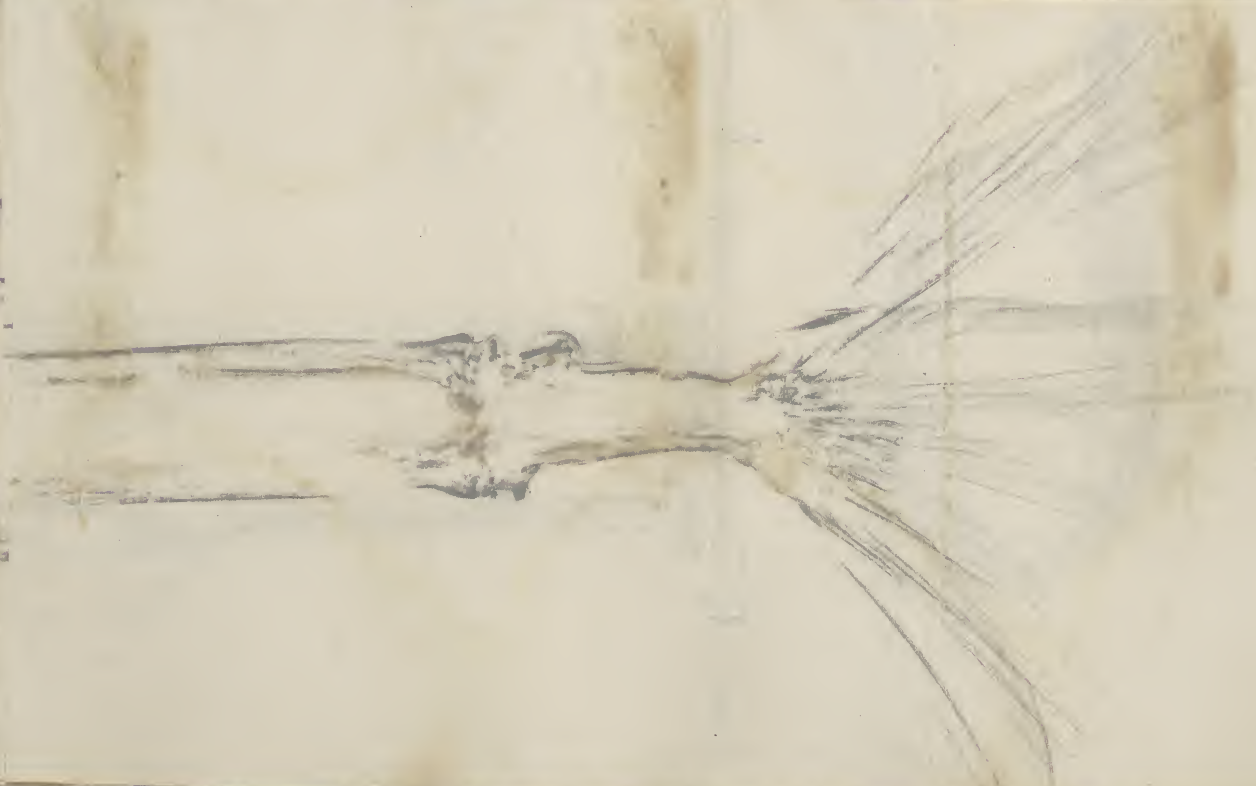


東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

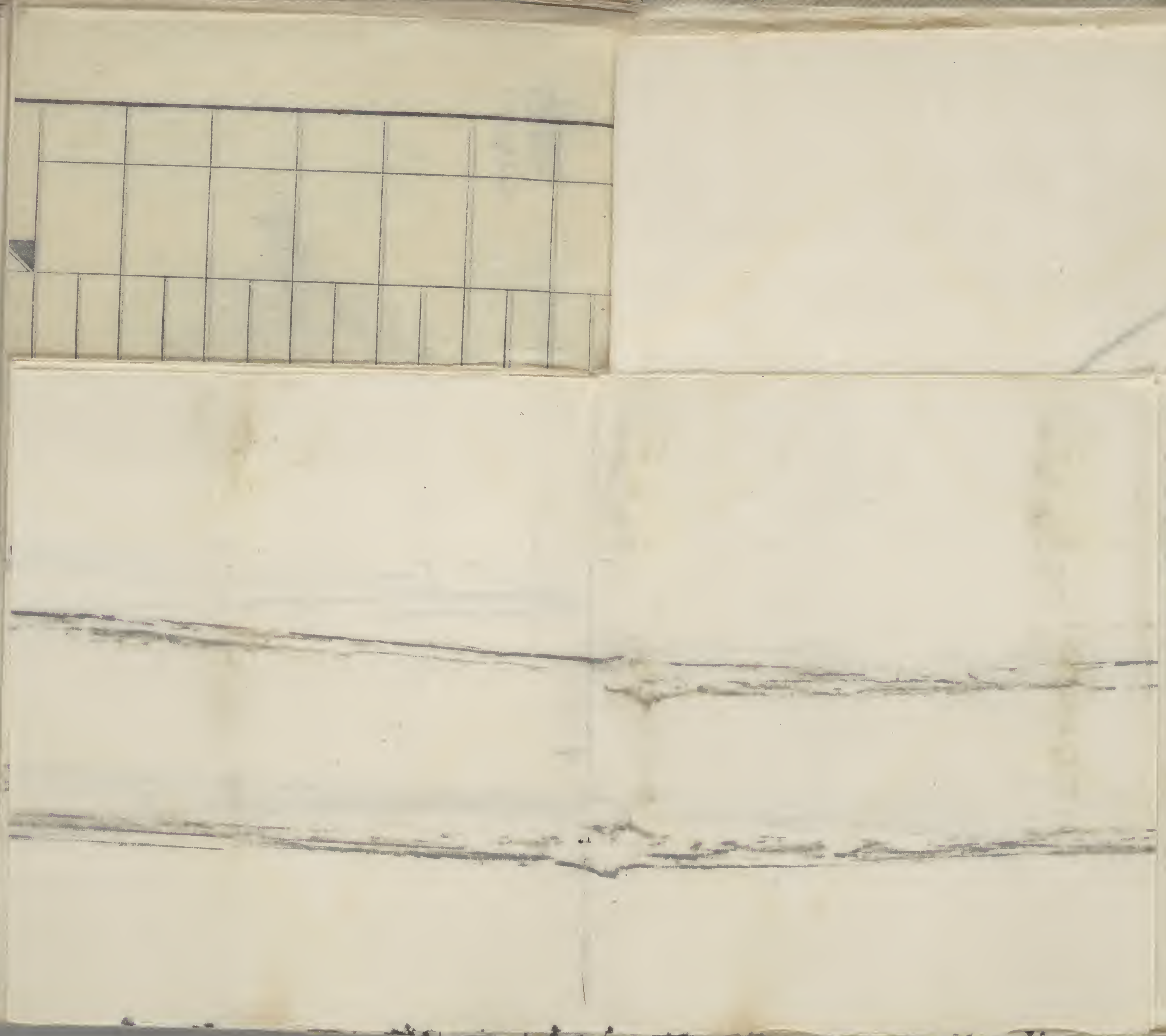
がばり 太茎ゝ 大形手

東京大学総合図書館



東京大学総合図書館

東京大学総合図書館



東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

函館山
オホナラ

十月十日 紅葉スベキノモノ

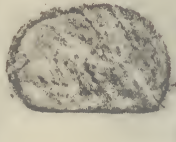
北海道

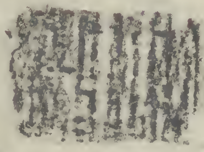
のど判読不能文字有 東京大学総合図書館

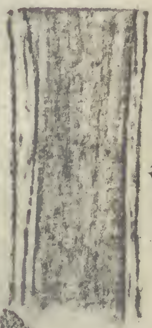
乳惺ノ木

石楢
イシナラ

楢ノ皮
色ニ包
促堅ニ
細工ノ
ソロノキ
ニ似タリ
外皮ヲ
剥ガバ
彼ノ如
クナラン

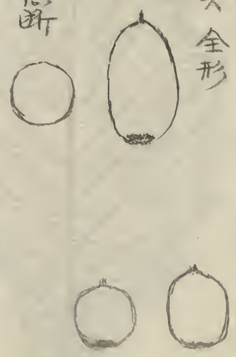

横截面


外皮面


皮付小材ノ縦截面

北海道

十二年十一月札幌ヨリ来



如此短大モノモアリ

北海道

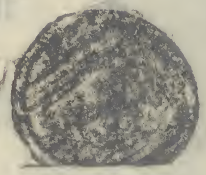
水楢（ミヅナラ）ノ葉

十二年十一月札幌ゟ来

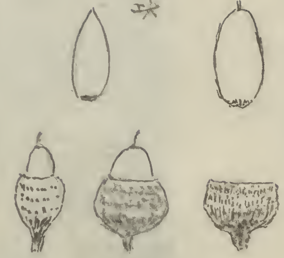
東京大学総合図書館

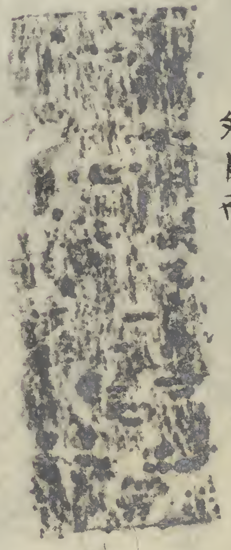
ミヅナラ
其ハ満両ヶ年ヲ採ル

材横截面

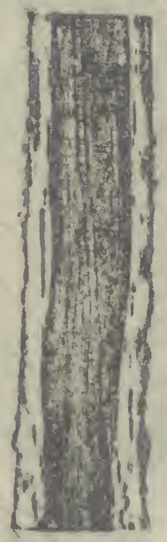


實ノ形如此





外皮面



皮付ノ材縦截面

灰白色滑澤ニシテ 疣瘤多クアリ 但シ尋常
楢ト大ヒナラ 石楢ト 彷彿タリ

東京大学総合図書館

シラカバハ
處也栗年人
若猿ノ間ニアリ

函館山 カシハ
九ヨリ紅葉ス

北海道

札幌　十六年十二月　本

槲（カシハ）ノ葉

北海道

明治十五年十一月鳴門義次携帯

北海道紅葉植物目録

番	名
一	ハソウンホク
二	ゴトウヅル
三	オホガベ
四	オカトラノオ
五	カレハ
六	タラ
七	ノブダウ
八	ヤマモミヂ
九	ヤマウルシ
十	ヤマブダウ
十一	ヤマサクラ

農商務省

十二 ナヽヱノノキ
十三 ナハシロイチゴ
十四 メイゲツカヘデ
十五 トネリコ
十六 アクレバ
十七 ヘビノボラズ
十八 ヤマイチゴ
十九 アカメヅルの、

總計十九品

一号

十七年一月札幌育種場永根平蔵ヨリ来ル

槭四種

此外ニ葉ハイタヤ　モミヂイタヤ　イタヤ　三種アリ
モミヂト云フモ実形大ニ異リ　イタヤ　葉ハ二三種ハ似タリ

北海道

二号

三号

東京大学総合図書館

雄木

北海道

右四号ハ名氏未定標ハ防ク 條ハ傍ノ 山井宛ヘ告 但シ 標葉ハ山井宛ヘ示スへし

四号

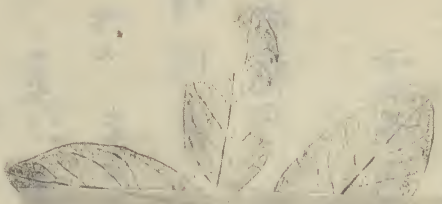
此品ハ カラコギ ニ似タリ

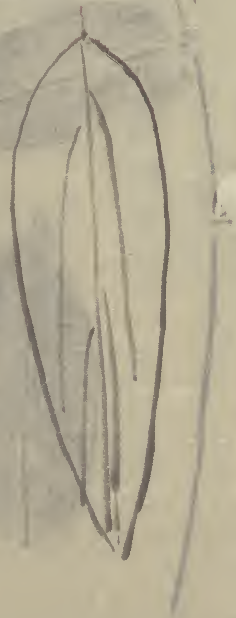
エノミタ子

廿

若林高久曰 エノミタ子ハ矮短之灌木ニシテ枝梢ハ細條互ニ離レ
葉ハ胡頽子葉ニ似テ表面淡緑色 裏面青白色 翼葉ニテ対

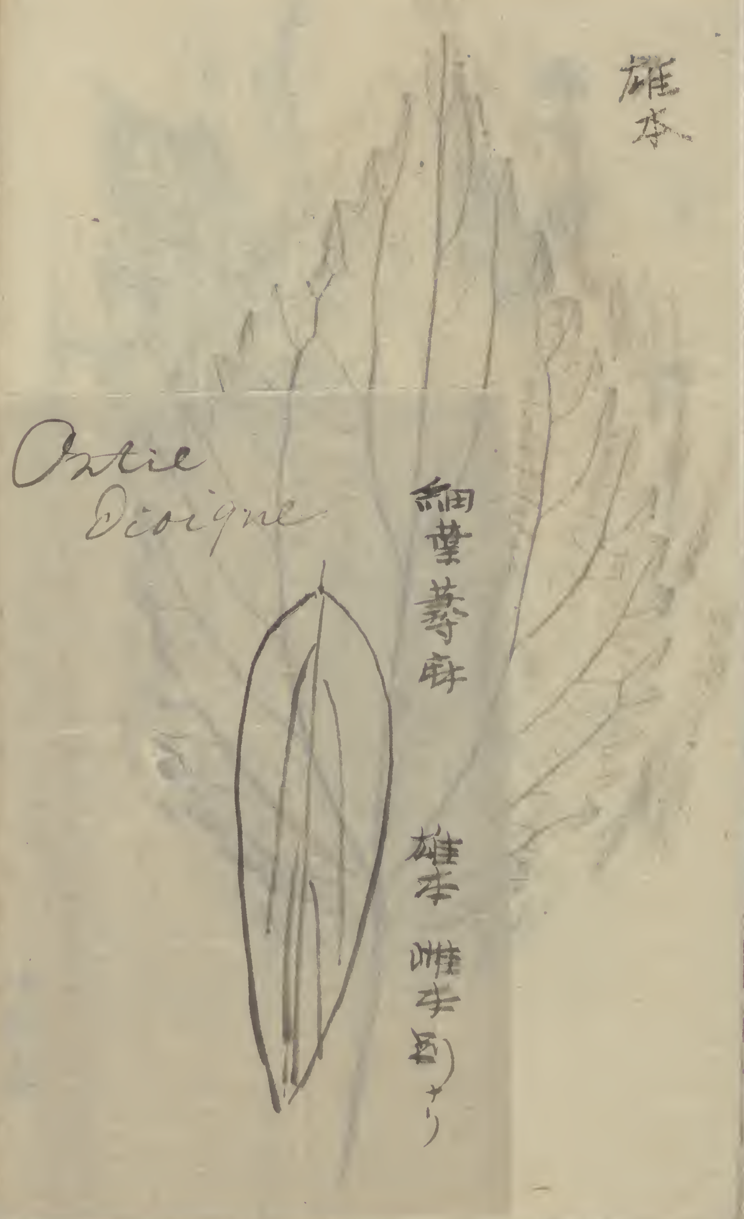
Ortie Dioique





雄李

雄本



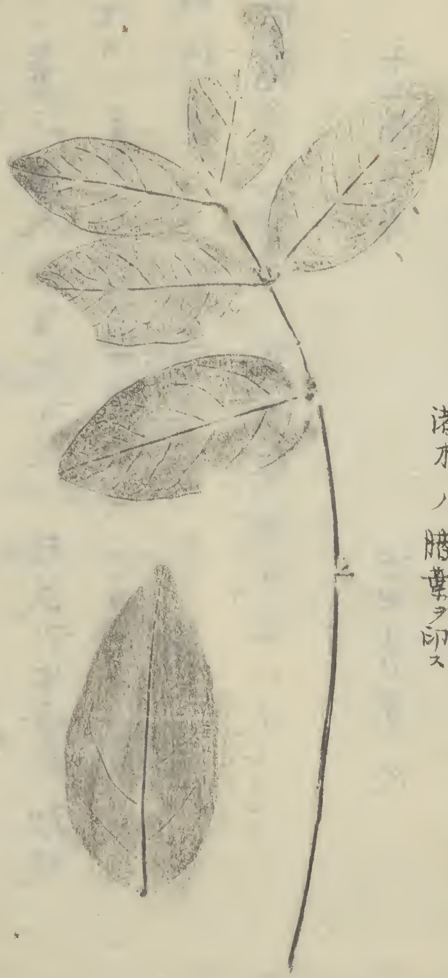
Ortie Dioique

細葉蕁麻

雄本 雌本別ナリ

エノミタ子　北海道ノ名

膽振国勇払郡千歳郡ノ砂原ニ叢生スル
灌木ノ臘葉ヲ印ス



若林高久曰 エノミタ子ハ 矮短之灌木ニシテ 枝梢ハ細條互雑シ
葉ハ胡頽子葉ニ似テ 表面淡緑色 裏面青白色 翼葉ニテ対

…生スル　…郡千歳村
…ミヽヲヽ　ヒスカヅラ
蝦夷…和名…
…ハ…シ　…久

生ス枝ハ一年ヲ経テ葉ノ對スル所ニ実ヲ結フ花ハ小ク五瓣ノ白花ト覚フ実ハ緑色ナレ𪜈長大ナルヲ見レハ濃紫色トナル形ハ楕円ニシテ末尖リ李形ニ似タリ大サ周七分長七分汁味西洋種葡萄ミシコルドニ亜ケリ　土人採集シテ生食シ杉氏ハ生食スルニ砂糖ヲ塗抹ス　若楽氏ハ砂糖漬トスルニ佳美ナリヲ覚フト云フ但シ糖價ノ貴キヨリ物産トナシカタシト云ヘ

小野職愨氏ノ鑒定ハ黒実驢眼布袋（ウブコスノキ）ニ近シト云フ

十五年十二月

田中芳男記

東京大学総合図書館

出ス枝ハ一年ヲ経テ葉ノ對スル所ニ実ヲ結フ花ハ小ク五瓣ノ白花
ト覚フ実ハ緑色ナレ𪜈長大ナルニ従ヒ濃紫色トナル形ハ楕円ニシテ末
尖リ李形ニ似タリ大サ周七分長七分許 味 西洋種葡萄
コンコルドニ亜ケリ 土人採集シテ生食シ 杉ノ氏ハ生食スルニ砂糖
ヲ塗抹ス 若林氏ハ砂糖漬トスルニ佳美ナルヲ覚フト云フ
但シ糖蜜ノ甘味ナキヨリ物産トナシカタシト云ヘ
小

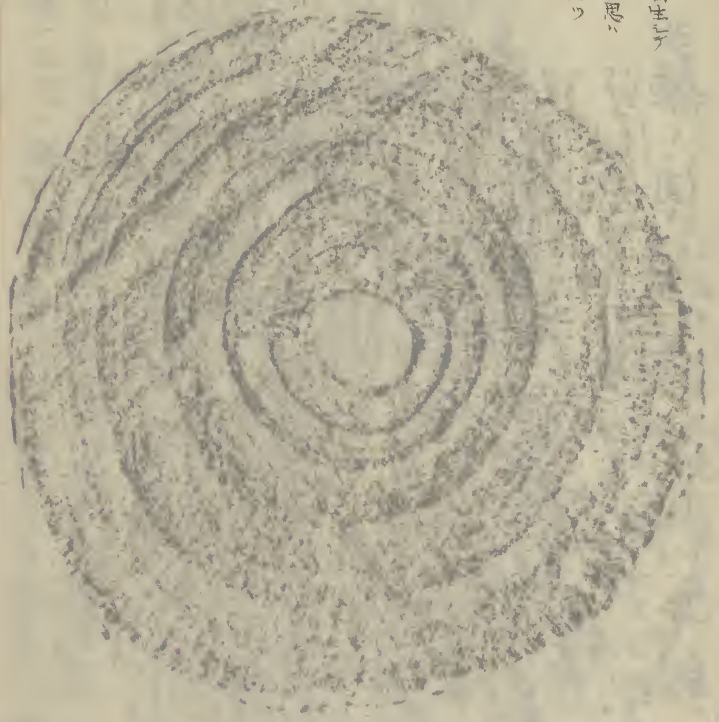
エノミタネ之葉

膽振國千歳郡千歳村
砂原ニ産スル
方言エノミタネ
一名クロミノウクヒスカグラ
古名ノ砂糖和薬
ハヽ試味ノ為ナルモノ也
ミノムシハ 小森有久

封筒内資料 東京大学総合図書館

日高国静内郡捫別村山奥自生ノ桐材

此材ヲ見ルニ自生ニテ年所ヲ経タルモノト思ハレズ歳輪漸ク六ツアルノミ



同所旅籠屋西田又次郎出ス

北海道

進呈

一　蝦夷風俗彙纂　附　廿冊

右之通借用候也

十二年八月十八日

田中芳男

町田様

北海道

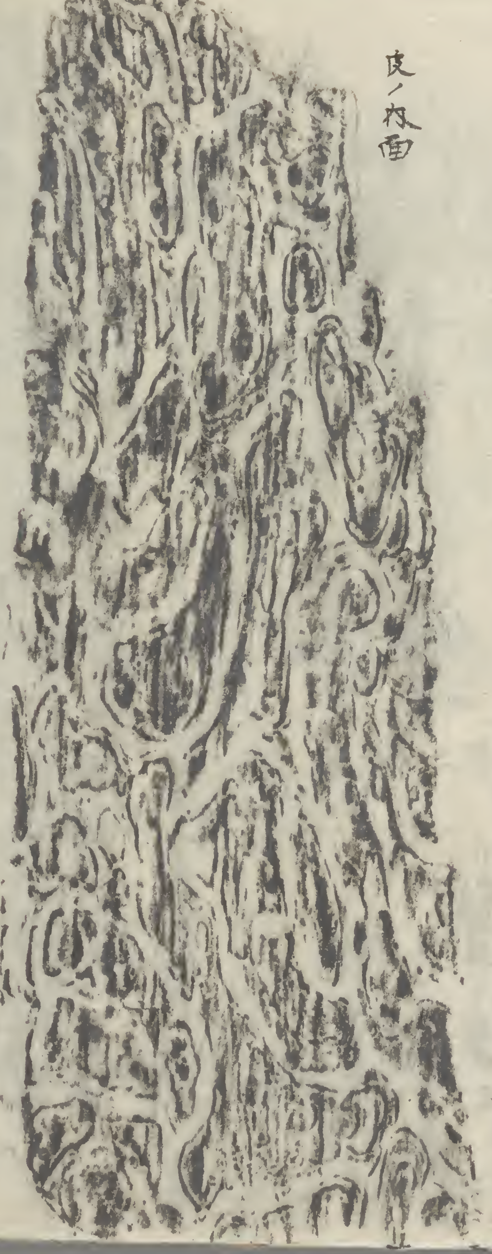
カツラ　老幹ノ皮

十五年九月札幌公園裏山ノ麓ニカツラアリ
本幹已ニ朽チ周囲ノ蘖数株皆三四囲アリ此皮
ハ即チ老幹ノ朽タルモノヽ皮ナリ、粗厚ニシテ脆カラズ據得シ所ノ大ナルモノハ
山林局試験場ニ小ナルハ博物館ニ献ス

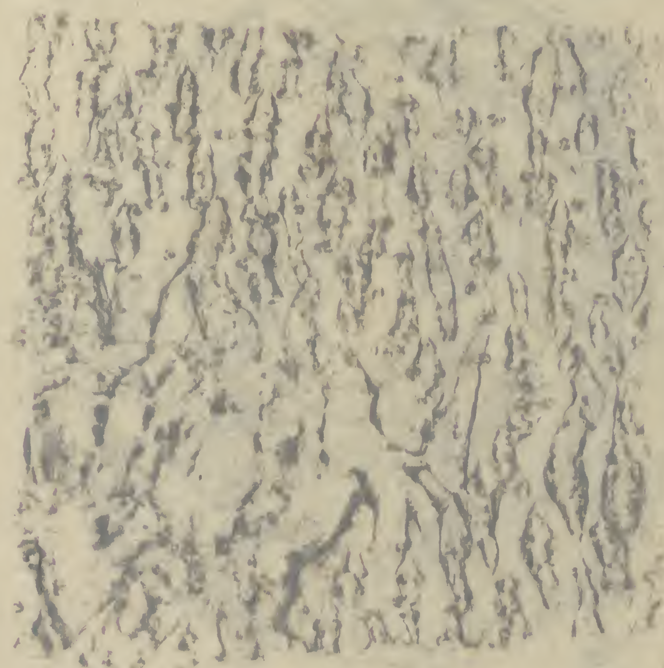
明治十六年四月十日

田中芳男記

皮ノ内面



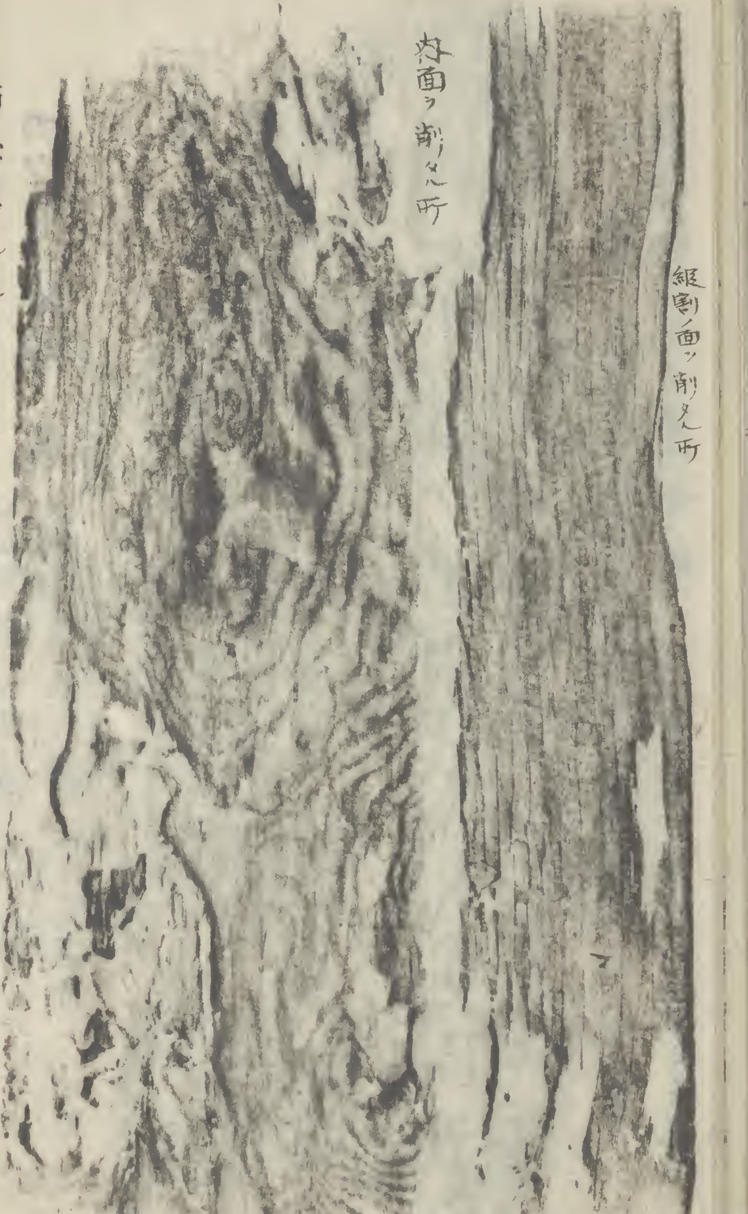
同皮面



[illegible]

[illegible]

質軽鬆ナル脆軟ナラス暗赤褐色ニシテ文理奇観ナリ



北海道

乙未本草會目録　イソツゝじ

Ledum palustris, Linn.

明秋ハ余亜ニ而採集シ
其種ヲ上ケ乱ト駐在
ちあゆヽ孔ハ土ホ郎ア
いイソツヽじハ此説ノ如ク
書ニ年ヲ以テ著ニキモノ
トあえヘ一西書中ナレ
照説キノムニ有セニ記載
ノ代書ノ説トカノ一笑セン

相樹ノ在ル所ハ
日高國静内郡
下下方村山奥ニナリ
黒龍江邑
西國元郎
大郎國キアラゞ相樹
在ル處ハ明ラナルヘシ

前略此植物ハ其茎葉ヲ
傷ツクレハ清香馥郁トシテ
恰ト生鮮ノ(カラハナサウ)ノ
如キヲ聞ク林娜氏云ヘル
アリ曰ク瑞西ノ某地方ニ
於テハ其葉ヲ採テ酒中ニ
混シ用ヒ蓋シ其香気ヲ
愛スルノミナラス発ヲノ
麻睡性ヲ含有スルヲ以テ
酒力ヲ助ケ酔ヲ催スニヨ
ナリト
云上 Botanic Garden 所載
三しカテ
杉以為
田中先生

札幌満那ノ贋物
何カ宝入ハ言ヲ種々ヲ持ヲ
あしる代蔵せし椿根ヲ
焼挪し隆あり池多ヲ
赤チモト橋し椿根し
咲出テタん手ノ沫ノ如えノ
継剤ミタん呆ミ烟し
太ハ和洋名ハ此名ま此ミ
モノニテカリ毒カ家あるん
モノミ分 旦 椿本内ミ新
ノ如キモノシ無カスんセノ
ミ可をかし代用ゟこ
穆何ゟ好ヲ先生

共有ノ書出セ ウ文役

十七年七月　南山人

失莫ハ畫ヨリ

猶獺ハ桃ト馬ナラン

コクソ

可カラス深山幽谷ニハ古来驚栄セリト

告グルヲ聞テ閣下ニ呈スルヲ惮ク座ク家隔

田中公

遇る献呈ニ村ハ北海道上磯郡茂辺地村
ニ山中ニテ采オセシモノニテ土地ノ者ノ説ニハ
蔦(ツタ)トノミ申(コクハ)トハ別物ニシテ如此太キ蔦
切方ニモ難ク稀ナルモノノ由承リタリニ付忽チ
閣下ニ献シ度念慮起リ持帰リ候上去ル人ニ
物語リタレバ其筆ノ杖ハ必ズニテ壽ト嫁トヲ
可カラス深山幽谷ニハ古来罕ナセリト
告グルヲ聞テ閣下ニ呈スルヲ憚リ空ク家隔

古名錄購求約証

一古名錄四拾五冊ヲ毎月壹冊ツヽ貴社ニ於テ印行發賣相成ニ付廣告ノ如ク割引廿壹錢ヲ以テ毎月購求致度相約候儀相違無之候也

府縣　國　郡　町村　番地

明治十八年　月　日

約定人

東京大学総合図書館

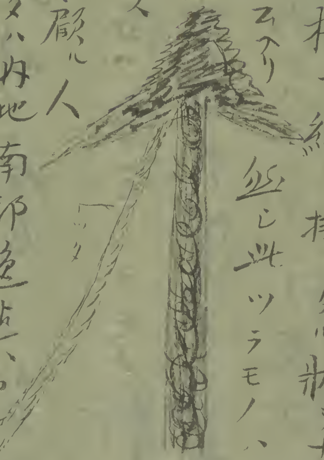
以膽振中ニ亦雲霧少シ寒氣
者後ニ至リ換民未ダ経験ヲ受
且カ奥ニ至テ故ナリ
渡道ス如ク北海道渡島上
磯部ノ辺山中ツタノ類ハ
者ニ仕為ヤヤ北海道
函館若ヲ山林ヲ省遠言信吉ト カヘスヘク
以前中丶如此ヲ為ス 篤モ
者候ヘ該品ハ方言ツラモノ ツルモノハ轉訛ナラン
ト稱シ茅部(カヤベ)檜山(ヒヤマ)辺ニ多ク盤
生シ頗ル長大ナルモノアリテ喬木ト

ニ蔵置ス若シ所用ニ立アラハ幸甚

明治十九年七月

陶山信蘇
敬具

纏繞シ恰モ樹ヘ縄ヲ掛ケタル状ナシ
居ルモノアリト云ヘリ 然シ此ツラモノハ
山葡萄及ヒコクワノ
如キ用 漁具ノ用ヲナサス
長大ナルモノアレドモ厳ハ人
ナレト云ヘリ 此ツタハ内地南部辺近ハアル曲



右方言ツラモノト相違無之候乎
御尋申上候 多用ノ為メ右御願迄
早々頓首
一月廿四日
[illegible]

田中先生
硯

尚時令御自愛之程奉祈候 謹言

北海道渡島上磯郡
茂辺地村ノ人

北海道土人製　烟管

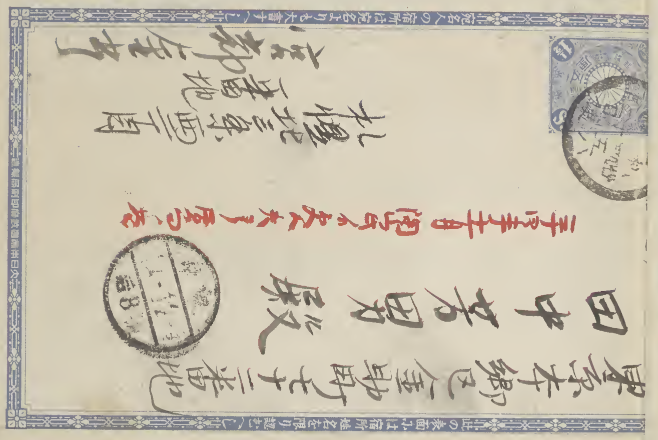
十七年七月十日　農務局牧畜課加藤氏ヨリ
本製烟管二本ヲ贈ラレ氏ノ説アリ

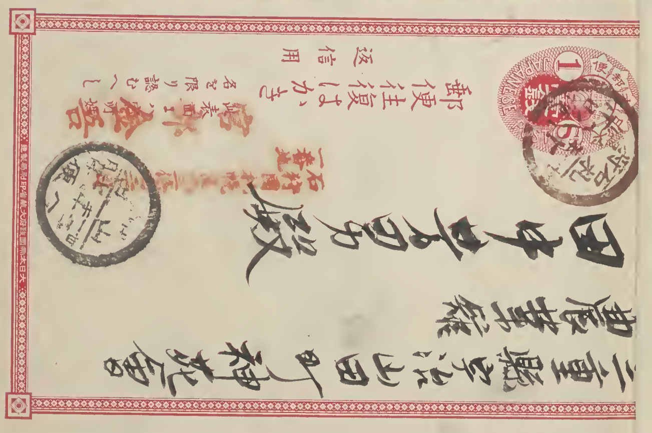
北海道後志国高島郡及岩内郡邊ニ
生スル方言「サビタ」樹ノ烟管ナリ
此辺ノ婦女人常ニ此烟管ヲ用ユ
且曰此樹ノ太サ人脛ノ太サニ至ル内皮ヲ以テ舌瘡
ノ如キ河垢ヲ去ルノ用ヲナスト云ヘ
今其烟管ノ畧形ヲ次ニ示ス

本郷区金助町七十二番地
田中芳男様
御手紙居

内務省宗北裏町
九十九番地
[illegible]人

北海道サビタ材の烟管

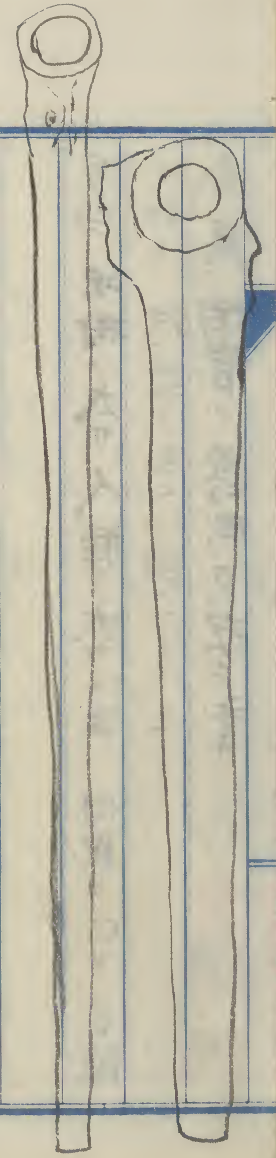




右樹ノ接スルニ サビタ 又 サブタ ト云フ 者ヲ 液地ノ勝手ニ
用ヒ ノリノキ ナリ 因テ 打手ヲ 切リ 試ムニ 静心ニ 白髄
アリ 孔ヲ穿ツコト 容易ナリ 而シテ 外皮ハ 放洞ナルニ 中間ニ
テ 抄紙ノ糊ニ 用ユルモノナリ 土佐ノ紙ハ 皆此白皮ヲ 揚糊
セルヲ 用フ タヅノリ トモ云フ 故ニ 湿テ 接着ノ糊ト 書ク

十七年七月十五日記

田中芳男



紙儀板

本郷区金助町七十三番地

北海道　マカバ

陶山氏ニ於テ差上ルエブリコハ樺太島ニ産スルグイマツ
一名シコタンマツ Larix dahurica var. japonica Maxim
ノ幹上ニ生シ山中稀ニ見ルトコロナリ [illegible]
エトロフ人ハ [illegible] エブリコ [illegible]
夏期ハ [illegible]
[illegible]
[illegible]
其色ハ白ニシテ [illegible] エブリコノ学名ハ Polyporus officinalis
効用ハ [illegible] 土人ハ [illegible]
又 [illegible]
三十四年十二月四日

エブリコハ本道千島國擇捉ニ産スルグイマツ（落葉松 Larix dahurica
var. japonica）ニ寄生スルエブリコニ
[illegible]
[illegible]
[illegible] エブリコ [illegible]
[illegible]
[illegible]

北海道
マカバ

東京大学総合図書館

北海道 マカバ

マカバ　即ウダイカバ　去年書ス図画
養樹園ニ採ル事ノ成ルヘキ所アリ尋常ノ
白樺ヲガンピトモイヒ此品ヲマカバトモイフ且
此樹皮ハ土人剥キ始リテ片ニ離テ各段ノ器
具ニ作リ又炬火ノ用トス　ウダイカバモ同シ
称炬火ニ用フルヲ以テ名ツクルモノトス歟
養樹ヲ印影ニ一ツ採写シテ一ラ田中ニ附ス
明治六戊年八月廿七　札幌ヨリ　田芳記

北海道産　アサダ

札幌ニテ得ル養樹園ニ
桂ハ冬ノ
六年八月來採
実ハ採タルモクタルニ
ニテ一属ナリ

北海道志 巻之三十四 物産

○オヒヨウ、「ウバ子」土言「アツニ」又「アツチニー」又「アツシニー」、山巌険地ニ生ス高四丈余ニ至リ枝椏四出シ葉ハ枝ニ附テ稠密ナリ葉ハ楡ニ似テ無稜ニシテ其形一様ナラス側邊椏四アリ、即稀椏四アリ一尖アリ又三尖七尖ナルモノアリ周辺ニ鋸歯アリ面ハ粗澁ニシテ背ハ灰色ニシテ軟毛アリ四月ニ至リ葉ニ先テ枝上処々ニ花ヲ着ク形ハ楡花ノ如ク皺大ナリ遅キ五六月花擢蔟ス此樹皮ヲ土人剥テ水中或ハ温泉ニ浸シ久シテ後刀ヲ以テ粗皮ヲ削リ糸ト為シ織テ布ト為ス是ヲ「アツシ」ト云フ土人ノ常服ナリ」（二十八ウ 二十九オ）

北海道志 巻之九 銘記

(参考) 増訂 植物名彙 松村 ○「アウニ」又「アヲニ」) Ulmus montana, Sm. var. typica, Maxim.

○「オヒョウ」 Ulmus montana, Sm. var. laciniata, Trautv.

○「ナニハヅ」、土言「エドハムニ」ヨク山野林中ニ生ズ「オニシバリ」ニ似タリ枝比其葉

柏陰又且鋭ク尖リ枝頭黄花ヲ攅簇シ香気アリ内皮ヲ

織リ器ニス (二十七枚ウ)

(参考) 植物名彙

「ナニワズ」(北海道) Daphne jezoensis, Maxim.

「オニシバリ」又「ナツボウズ」 Daphne pseudo-mezereum, A. Gr.

北海道ノコトヲ知ルニハ 蝦夷風俗彙纂 十七冊 北海道志 十五冊

ヲ又 勧業叢書ノ内カ 三十年 北海道[illegible] 一冊 [illegible] 二冊アリ

北海道要覧トカニツ小冊子アリ 北海道ノ事ヲ記シタル北海道紀

業要覧ノ冊アリ 又地質図アリ [illegible] 保護ノ上ニ [illegible]

アリ又本年 国ノ子ノ 一巻図(北海道国務後 地図) ノ本ハ 最モ良シ

モノト又 西ニノ 宮部ニ 共ニ 近物学 千種 植用 ニ 左ニ 詳

北海道後志四郡明治二十年山林概況 九一年

北海道実検記事 一四一七号

北海道會社及製造場概況 九一年 一四三〇号

東京大学総合図書館

○本道主要樹木の名稱を一定す　從來本道の樹木は其の名稱區々にして地方に依り又は人に依り其の呼稱を異にし公務取扱上不便少からさるより道廳林務課にては主要なる樹木の名稱を一定して各郡區役所に通牒されたり其樹名は左の如し

通名	漢名	方言
トドマツ	俗椴	
シコタンマツ	葉落松の一種（グイマツ（エトロフ方言）シコタンマツ（根室方言））	ー
エゾマツ		ー（シンコマツ根室方言）
アカエゾマツ		
ゴエフマツ	五鬚松	ー
アラヽギ	羅漢樹又朱樹	チンコ、イチイ
アスナロ	羅漢柏	ヒノキ、アスヒ
カツラ	俗桂	シロカツラ
ヒガツラ	俗緋	アカガツラ
ホヽノキ	浮爛羅漢 俗朴	ー
ゴブシ	辛夷	ヒキザクラ
シナノキ		ー
オホバボダイジユ	辛棋樹一種	オホバシナ、アテシナ
キハダ	蘗木	シコロ
ニガキ	黄棟樹	ー
トチノキ	七葉樹	ー
ハウチハカヘデ	ー	オホバハナイタヤ
モミヂ	槭樹	ハナイタヤ
イタヤカヘデ	ー	イタヤ
クロビイタヤ	ー	クロビイタヤ
ミツバカヘデ	ー	ミツバカヘデ
カラコギカヘデ	ー	ヤチイタヤ
イヌエンジユ	櫰槐	エンジユ
ヤマザクラ	櫻	ー
ウハミヅザクラ	ー	シウリ
エゾウハミヅザクラ	ー	カバザクラ
アヅキナシ	ー	カタスギ
ズミ	ー	サンナシ
ナヽカマド	ー	ー
センノキ	刺楸樹	オニセン
ヌカセン	仝上の一種	ヌカセン
ゴンセツ	ー	アブラコ
ミヅキ	俗女眞	ミツノキ
ハシドイ	ー	ドスナラ
ヤチダモ	ー	ヤチダモ
アラダモ	ー	ー
ニレ	楡	アカダモ
オヒヨウ	ー	オヒヨウ
ヤツグハ	桑	ー
ナニグルミ	山胡桃	クルミ
カハグルミ	櫰香	ヤ[illegible]
シラカバ	樺木	ガンヒ
サイダタンバ	ー	マカバ
タケカンバ	ー	ドスガンビ
ミヤマハンノキ	ー	ダケバ
ハンノキ	赤楊	ヤケバ
ヤマハンノキ	ー	ハンノキ
サハシデ	ー	クチグロ
アサダ	ー	アサダ
カシハ	槲	ー
オホナラ	俗楢	ー
ミヅナラ	ー	ー
コナラ	抱	ー
クリ	栗	ー
ブナ	山毛櫸	ブナノキ
ドロヤナギ	白楊	ドロ、カドロ
ハコヤナギ	ー	ヨメフリ、ヤマナラン、ドロ

北海道著名市港商況	大二年 一七八五号
牛馬ノ数	大二年 一七八八号
北海道外二府三十二縣海産肥料高	大二年 一八九六号
露國サガレン島沿革一斑	大二年 一九〇〇号
サガレン島植民ノ進歩（ロシア）	二〇一五号
函館附近松杉ヲ植エシハ文化文政ころ	二〇七七号
右	二〇八九号

大三年十月十七日　片山遠平[illegible]

東京大学総合図書館

大正二年八月　函館ヨリ西翔丸之後　農業實習員ヲ乞ヒテ

北海道　下駄材　三種ノ說明

田中長石

大正二年八月　北海道行游日録

東京市本郷區金助町七二

田中書（以下欠）

大正二年八月廿（以下欠）

函館（以下欠）

函館下駄三足目注
大字ヰ古て第□號

一 機械細歯 檜木製下駄 一足
末広町五 塩谷㐂右衛門製

一 組板下駄 帯錦機械製 一足
新川町三〇九 挽材業 笠原平太郎

一 跋扈柳（バツコヤナギ）製 下駄 一足
地蔵町五〇 傍物商 萩野市之助製

（出張室ハ取リ先テ入レタリ）

大正二年八月廿七日

函館商業會議所

電話（二一〇番）

東京本[illegible]

田中貴男殿

東京大学総合図書館

登錄 四四乙 號

棒砂糖製造ノ件ニ付客月書ヲ以テ當地塩谷甚太郎ノ
製造品ニカヽル機械下駄十足ヲ以テ本日委員ヲシテ檢
査致シタル處右ハ機械ヲ完成セサル点有之候ニ付未タ廣
ク販賣スルノ運ヒニ至ラサルノミナラス得ベキ為念申添候也

大正二年八月廿七日

函館商業會議所

田中芳男殿

追テ別冊解說書ハ御帰函ノ節差上置キ候筈

草鞋狀ノ下駄ノ解說書ニ有之候

函館商業會議所

登錄 五一一二 號

棒砂糖下駄ニ付清祥ハ函館區塩谷甚太
郎ノ特許出願ノ物ニテ出願人ヨリ物品ノ物ニ付記通
リニ有之候條御承知相成度候也

追テ實驗ノ結果ハ之ヲ發表スルニテ差支無之モ中止居候

大正二年九月廿九日

右記

函館區東濱町四十五番 塩谷甚太郎

東京大学総合図書館

解説書

函館区新川町三十九

出品人　挽材業　笠原平太郎

一、組緒下駄製造方法

普通木駄木ノ木取リ方ヨリ五分大ニシテ厚二寸二分巾三寸七分長サ七寸五分トシ武カ型（下駄材トシテ取ルベキ形状）ヲ為セシ板金ヲ横面ニアテ墨汁ヲ以テ縁ヲ付ケ帯鋸ヲ以テ縁ヲ目当ニ挽中切ルモノニシテ帯鋸ノ運転ハ蒸気力ニ依ル

二、製造高

函館商業會議所

大正二年八月十三日

田中芳男殿

函館商業會議所

電話（二一〇番）

一日一人平均十時間トシテ三百足ヲ製作シ得

三、一足ノ直段

普通手撚ノ仕上ゲ一足三錢トセハ帯鉄ニ依リ撚状

ヒシモノハ二錢四厘四毛位ノ割合ニテ製作シ得

四、輸出

本年始メテ着手トシテ製作セシモノニテ内地輸

出セシ事ナク本年壹千足位製作セシニ止マルモ大、

販路ノ擴マル見込アリ

東京大学総合図書館

拝啓
然者本會作成之解說書ハ製造人
及仲買人商工業者ニ配布致シ度候ニ付
ニ於テ保存之件ニ付明白ニ有之候ニ付同郷
並ニ候ハヾ新聞紙上ニ解說書
別紙ノ通リ御申上候
以上
函館商業會議所

本品ノ名称ハ柳又ハ棒ト称シ現今专ラ北見国ノ
産ニ多数ニテ十勝日高之ニ亜ギ樺太ニ於テハ
材料豊富ナルモ運搬便具ノ代ノ関係上
市場ヘノ供給未ダ覚束ナキモ将来有望
ノモノ也
本品ノ製作方法ハ普通手工鉈剣ノ
モノニテ寸法ハ巾四寸背二寸長サ一尺三寸
ニテ男大ノ下駄壱足分ヲ製スルニ足ルモノナリ
本品ノ需要ハ漸ヤク数年前ヨリ初マリ
昨今ニテハ需要一層数十倍ノ多キニ上ル昨
年ヨリ下駄材トシテノ産額約弐万石

履物卸商 10 萩野市兵衛商店 電略ホ〇

[illegible]

ヲ生ズト云フ [illegible]
耳ノ二ノ耐久ノ [illegible] 十分ナレバ [illegible]
本品ハ無節ノ [illegible] 年 [illegible]
ニシテ大ナル程 [illegible]
チ二三寸ヨリ四五寸 [illegible] 一寸ニシテ
本品ノ [illegible]
ヘチノ如
桐材ハ [illegible]
其 [illegible]
其 [illegible]
本品ハ [illegible]

ヲ下ラズト謂フ今日ニ至ルモ多数ノ需
要有之事ト信ズ
本品ノ販路ハ全国ニ及ビ惟東北、北陸
地方ハ従来ノ桧材料安価ニ供給スルヲ
以テ柾ヒ主ニ関西、山陰山陽、九州ニ多
数ノ販路有之今後桐材料ノ騰貴ニ
従ヘ一般ニ需要ヲ呼ビ起ス事ト信ズ
本品ノ製造方法ハ五十余年前ヨリ
降雨ノ場合ハ西詰ハ莚ヲ以テ圍ニ為
遣ス價ハ其個ニ對シ金拾文ヨリ中央文ナリ
本品壱足ノ價壱円拾銭金五十銭ノ二十銭

明治　年　月　日
履物卸商 萩野市兵衛商店
電略ホ○

東京大学総合図書館

大正弐年八月十三日

履物卸商 萩野市兵衛商店

電略ホ○

金票五厘三分ハ金票トシテ賦課ス

尚本点ニ加工シテ七分仕上テ壱ヲ井桁抜トシテ

一般ニ需要有之材料出来テ之ヲ運搬ニ便ニ

シテ大ニ歓迎セラレ之ガ為メ方法ハ高価ニ

入壱個トシ売買セラレ単価ニ於テ金六拾八銭

箇迄ノ儀ハ金壱個ニ付キ金拾銭ノ中實ケ

賦課ハ之ニ標本ト大差ナク尚数廿位ニテ壱

年取扱高於五万足ニ達ス

萩野市兵衛

小樽ノ山崖
石上ニ多ク生ス
菊科文属ノ
宿根草ナレバ
旧茎枯テ
其上ヨリ
芽ヲ
出ス
[illegible] 北海道産
三十四年[illegible] ノ如シ

[illegible]

小ヨモキ之葉 標しか貼テ
今年下維之まで喜へ 傳ル生年
の見事 北海道の上ノ島へ
送致し手 外国卫かト
云云とし一フて

香気ハ丈ニ
仔ハ香佳ナリ
古葉ハ宿葉
採リ持来ル所ノ
根株ハ栽植シ
植木商ノ家ヘ托
シ植付サセミタリ

九月四日
田中芳男記

此もの之栗樫に於て
年々雑と主稀く
の見ある北海道の上島に
意識して外国ヘカト
ど存ゝ彼ノ「エスパルト」上等
ナんモノ斬ノ如キモノニハ
也

香気ハ無く
修而佳なり
壱年ヲ一日而
掛り持來所ノ
根株ハ横濱
植木商學ヘ托
シ植付させたり

九月四日
甲井男記

香気ハ未
早高佳ナラ
葉ハ日高
掛ケ持売ル所ノ
根株ハ植漬
植木商等ヘ托
シ植付ヲ之ミり

これや たも後葉ハ葉
硬リシテ 針金ノ如クアリシト
覚テ 盆上ヲ焼テや
本科上一

二ノ十

接枝 植木屋
浅田東亭

ヌメリサス

蓉

香気ハ无シ
保存佳ナリ
廿一年八月苗
掘リ持来ル
根株ハ横濱
植木商へ托
シ植付セシミナリ

[illegible] 学上ノ畑 [illegible]

[illegible]上旬

三ノ十

横濱植木會社

[illegible]

ヌリタサ入

若

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館